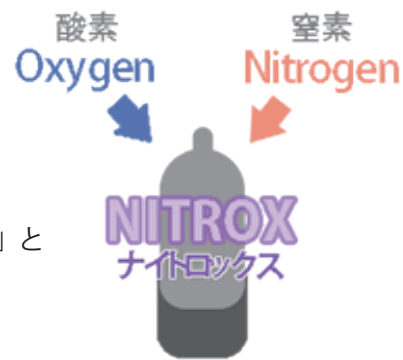


エンリッチ・ド・エアって何？

「ナイトロックス」と「エンリッチド・エア」

ダイビングの世界では、「ナイトロックス」という言葉と「エンリッチド・エア」という言葉が混在して使われています。「果たしてどっちの言葉が正しいんだろう？」と考えたりしますが、この二つは、示している物が多少異なっているだけで、どちらが正しいということではありません。ナイトロックスという言葉は、「窒素と酸素の混合気体」を指すもので、窒素と酸素の英語「Nitrogen」と「Oxygen」を組み合わせた造語です。ですから、広い意味でのナイトロックスは、混合比に関係なく窒素と酸素の混合気体全てを指します。



通常の大気は、おおよそ酸素 21%、窒素 78%、その他のガス 1%で構成されています。

レクリエーションダイビングで使用するナイトロックスは、酸素濃度が 21%を超え、40%以内のものを使用します。一方、テクニカルダイビングでは、大深度での酸素中毒を防ぐため、酸素濃度が 21%未満のナイトロックスガスも使用します。どちらも「ナイトロックス」ですが、レクリエーションダイビングで使用する空気より酸素濃度の高いナイトロックスを、「エンリッチド・エア・ナイトロックス (EANx)」と呼んで、大気より酸素濃度の低いナイトロックスと区別しています。

エンリッチド・エアのメリット

エンリッチド・エアには、医学的メリットとダイビングプラン上のメリットがあります。医学的なメリットは、「空気と同じ深度に同じ時間潜るのであれば、残留窒素が少なくなるため減圧症に罹りにくくなる」ということです。プランニング上のメリットは、「空気と同じ減圧症リスクを許容するのであれば、減圧停止不要潜水時間が伸びる」ということになります (表 2)。

空気用の減圧表を使用したダイビングはそもそも減圧症発症率が低いため、エンリッチド・エアを使えば直ちに発症率が下がるというわけではありません。しかし、水深 30m 程度の比較的深いダイビングでは、空気を使って潜ったダイバーよりエンリッチド・エアを使用したダイバーのほうが減圧症になる率が少ない傾向があります。

より安全にダイビングを楽しむ

エンリッチ・ド・エア・ダイバー・スペシャリティ・コース

Enriched Air Diver Specialty Course

エンリッチド・エアは、減圧の許容範囲を広げることのできる最新技術です。エンリッチド・エアで、エンリッチド・エア用のダイビング・コンピューターを使用し、マルチレベル・ダイビングをした場合には、空気でのダイビングに比べて時間的に余裕を持つことができます。特に、水深が 15 ~ 30m のダイビングに向いているでしょう。じっくりと水中生物を観察したり、水中写真を撮りたいダイバーにはうってつけのコースです。

また、エンリッチド・エア用のダイブテーブルの使用方法なども身につきますので、減圧理論に興味のあるダイバーにもオススメです。エンリッチド・エアはダイビングの手段の 1 つです。エンリッチド・エア・ダイバー・コースを受講することによって、エンリッチド・エアがどのような時に役に立つかという判断ができるようになることでしょう。



受講前条件

PADI オープン・ウォーター・ダイバー 以上
または PADI ジュニア・オープン・ウォーター・ダイバー 以上で、12 歳以上

講習内容

レクチャー & ダイブ前に
準備実習 2 回
※オプションで海洋実習
2 ダイブ

講習を修了すると・・・

エンリッチド・エアという特殊な気体を使用することにより、減圧不要限界を延長でき、水中写真撮影や水中生物観察などがじっくりと楽しめます。

●使用教材



◆エンリッチド・エア・ダイバー・マニュアル ¥2,740 (税抜)

エンリッチド・エア・ダイビング (酸素濃度を高めた空気) の専門的な知識やスキルを学びやすくするために考案された、自習式のマニュアルです。講習時のみならず、いつでも読み返して知識を確認できるように構成されています。